

TTC 提案山行実施記録表

2015.10.4 KS

山行名	北ア 常念岳・蝶ヶ岳 [2857/2677m 長野県]									
実施日	2015年9月18日(金)～20日(日) 2泊3日(山小屋泊) マイカー、タクシー									
天候/参加人員	天候 9/18 晴/曇、9/19 晴/曇、9/20 晴 レベル: ★★★ 参加者: 5名(男2名/女3名)									
パーティスタッフ	CL/計画: SL/カメラ: 会計: 救護: スタッフ氏名削除									
参加メンバー	参加者氏名削除									
費用	[内訳] 交通費: マイク使用料(440km×10)¥4,400: ドライバー謝礼¥5,000×2=¥10,000 燃料代@140×440km/8km=¥7,700 高速代(¥5,260+¥4,030) ¥9,290 タクシー(往¥5,200、帰¥5,800) ¥11,000、交通費計: ¥42,390 山小屋: (9,800+9,500) ×5=¥96,500、入浴@480×5=¥2,400、通信費¥1,000、 費用総合計: ¥142,290 参加費: ¥28,500×5=¥142,500 カンパ金: ¥210 ¥28,500-									
所要時間	-	歩行時間			休憩時間			行動時間		
	-	9/18	9/19	9/20	9/18	9/19	9/20	9/18	9/19	9/20
	ガイトブック	5:00	5:25	3:20	-	-	-	-	-	-
	計画	5:30	6:20	4:00	1:30	1:50	0:50	7:00	8:10	4:50
	実行	3:40	5:15	3:15	0:35	1:30	0:35	4:15	6:45	3:50
実行コースタイム記録										
◆9/18(累積標高差: 登り約1300m/下り0m、歩行距離: 約9km)										
圏央道・中央道 (朝食) タクシー 本厚木==圏央厚木 IC==談合坂 SA==諏訪湖 SA==安曇野 IC == 安曇野観光タクシー===== 4:00 4:15 4:50-5:10 6:10-6:40 7:05 7:15-7:25 (0:55) (0:50) (0:40) (0:50) (0:25) 一ノ沢登山口(1500m)―王滝ベンチ(1750m)―(1950m)―胸突八丁―第2ベンチ―常念小屋(泊) 7:50-8:10 9:05-10 9:15 10:00-10 10:50-11:05 11:10 11:55-12:00 12:25着										
◆9/19(累積標高差: 登り500m/下り250m 歩行距離: 約7.5km)										
(1:10) (1:10) (1:10) (0:50) (0:55) 常念小屋 ―― 常念岳 (2400m) ―(2500m)―(2550m)―蝶ヶ岳―分岐― 蝶ヶ岳ヒュッテ(泊) 6:40 (10分) 8:00-30 9:40-50 11:00-30 12:20-30 12:55 13:25着										
◆9/20(累積標高差: 登り0m/下り1400m、歩行距離: 6km)										
(0:05) (1:55) (1:00) (0:15) タクシー 蝶ヶ岳ヒュッテ ―蝶ヶ岳― まめうち平 ―― 三股 ―― 駐車場 ==== 安曇野観光タクシー===== 6:00 6:05-10 (10分) 8:15-25 (5分) 9:30-35 9:50-55 10:20-35 (入浴・昼食) 中央道・圏央道 ビレッジ安曇野===== 安曇野 IC===== 諏訪 SA=====圏央厚木 IC=====本厚木 10:40-12:30 12:40 16:00										
コースの概要、特記事項、反省事項等										
前日は荒れ模様の天気なので一ノ沢の増水により登山道を引き返す事態にならないか心配であった。山小屋に確認したり、ネットで調べて、大雨になっても1～3時間待てば通れるようになるとの情報があり、また天気も回復傾向にあるため予定通り出発することにしました。 ◆9/18(金) 早朝、車でメンバーをピックアップし本厚木を予定通り4時に出発。その直後雷雨となり、一時土砂降り状態となった。その後天気は回復した。諏訪湖SAで朝食を摂り安曇野観光タクシーに到着。予定より早く着いたが、直ぐにタクシーを呼んでもらうことができた。タクシーは一ノ沢の駐車場を通り越し登山口まで入った。登山届を提出し準備体操を行い、予定より50分早く出発できた。雨上がりの晴天で清々しい登山道を進んだ。SFさんに、久しぶりの山行なのでゆっくり登ってと言われたので、ゆっくり登ることにした。										

沢の水量は多いが、かなり澄んでいる。その後、何か所か沢を渡るところがあったが、丸太橋が掛かっており、渡渉するところは無かった。時間的には大滝ベンチの中間地点と思われる場所で休憩した。全身体調は絶好調のようだ。その後、大滝ベンチには5分で到着した。予定よりはかなり早いペースであることが分かった。大滝ベンチにはベンチらしき物は無く、そのまま通過した。

その後、急にガスが掛かってきたが、予報では午後雷雨となっていたが、午前中は大丈夫そうだ。時々ガスの切れ間から常念岳が姿を現す。紅葉も始まっている。胸突八丁の登りはきついが景色は良い。

ようやく常念小屋に到着。予定より3時間以上早く着いた。今日は平日の為宿泊客が少ない。8人部屋に5人でゆったりと泊まることができた。5時半の夕食までの間、食堂で懇親会を行ない、親睦を深めた。外は雷雨となり、3時頃には土砂降り状態であった。早く到着できて良かった。

◆9/19(土)

快晴、5時半に日の出なので先に日の出を見てから朝食を摂ることにした。東の空遠方の浅間山に朝日が昇った。南側には今日登る常念岳山頂が見える。東斜面の紅葉が一段と赤く染まっている。西側には穂高連峰や槍ヶ岳がくっきりと見える。

朝食後、予定より20分早く出発。日差しの強い斜面を山頂へ向かって登る。山頂は360度の大展望。30分間ゆったりと展望を楽しんだ。山頂を後に下り始めたが、急斜面を約1時間連続して下った。結果的にはここが今回の山行で一番気を使った場所であった。特別危険というわけではないが、気の抜けない下りであった。

東側(左手)の本沢から雲がどんどん上がってきて、いつの間にかガスの中に完全に入ってしまった。常念岳山頂からは今日歩く尾根の蝶ヶ岳やヒュッテや蝶ヶ岳見えていたのに、全く見えなくなってしまった。残念ながら右手に見えるはずの穂高連峰や槍ヶ岳も見えなくなってしまった。また道標も無くピークに赤ペンキで頂上と書いてあるところがあったが現在地がよく分からない。後から考えるとあそこが蝶ヶ岳の頂上に思えた。

1時半頃に蝶ヶ岳ヒュッテに到着した。もっと到着が早ければ、今日中に下山することも考えたが、この時間であれば予定通り泊まることにした。土曜日の為山小屋は混んでいて、3人で二つの布団が割り当てられた。夕食までの間、懇親会を行った。夕方外に出てみるとまだガスは掛かっていたが、瞑想の丘からは北側に蝶ヶ岳と眼下に点々とまとまっている紅葉が見えた。西側には穂高連峰の岩稜が薄らと見えた。夕食後は明朝の準備を行い床に着いた。飲料水は有料で1L200円でした。

◆9/20(日)

朝5時から朝食、遠くの山々は雲が多く日の出は見えそうになかった。下山後のタクシーを10:10で予約した。ヒュッテから衛星電話で300円入れて話したが数十秒で切れ、ピッタリの時間であった。予定より1時間早い6時に蝶ヶ岳山頂に向けて出発。5分で到着。北側には昨日登った大きな常念岳が見え、西側には鋭く岩が切り立った穂高連峰と槍ヶ岳が見えた。これで大パノラマも見納めである。

帰路へ向けて下山を開始。キャンプ場の道標に三俣・大滝山方面と書かれていた。似たような地名であるが万が一違っていると大変なので地図を取り出して再確認。やはり三俣はあるが、三俣は地図に載っていない。三俣のことと判断し出発、数分後分岐点に三俣の道標を見つけ一安心。途中休憩をはさみまめうち平に到着。

まめうち平まで2:15かかっていた。山頂までの時間を引いてもこのペースではタクシーを呼んだ10:10に間に合わない。SFさんとはゆっくり行く約束ではあったが、後半はスピードアップさせてもらった。途中ゴリラの木を見ながら三俣に到着。トイレ休憩後、タクシーと待ち合わせている駐車場まで歩いた。ガイドブックで1:40のところを、休憩を含め1:25で歩き、予約の20分前に余裕で到着できた。ご協力いただきありがとうございます。

その後タクシーで安曇野観光タクシーに戻り、マイカーに乗り換え近くのビレッジ安曇野で汗を流した。隣の敷地の手打ちそば屋で昼食を摂り帰途についた。渋滞もなく、16:00に厚木に到着。

計画を引継いで担当しましたが、メンバーの協力と天候にも恵まれ穂高連峰・槍ヶ岳の眺望を楽しむことができました。ありがとうございました。